

全労金2024春季生活闘争ニュース・第41号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一步先のステージへ！～

《合意速報No. 20》

長野労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

長野労組は、3月26日10時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求					回 答				
		正職員 (要求範囲：全職員)	アシスタント職員	スマイルサポーター	シニア職 員	シニア アシスタ ント職員	正職員 (要求範囲：全職員)	アシスタント職員	スマイルサポーター	シニア職員	シニア アシスタ ント 職員
基本賃金	改善内容	10,000円	時給額55円	時給額39円 (+最賃30円)	9,600円	時給61円	6,000円 ※管理職は2,000円 ～7,000円	時給額40円	時給額30円	5,800円	時給45円
	定昇相当額 (実在者平均)	5,000円	3,800円	800円	—	—	5,000円	3,800円	800円	—	—
	合 計	15,000円	12,000円相当	5,800円相当	9,600円	時給61円	11,000円	10,000円相当	4,600円相当	5,800円	時給45円
最低賃金		時間額1,065円、日額7,810円、 月額164,000円への引き上げ					要求通り				
一時金		4.7	2.5	1.1	2.5	2.5	4.7 +10,000円 (※管理職除く)	2.5 +10,000円	1.1 +10,000円	2.5 +10,000円	2.5 +10,000円
昨年実績		4.7	2.5	1.1	2.5	2.5	4.7	2.5	1.1	2.5	2.5
安定雇用	無期転換	—	(実現)	—	—	—	—	(実現)	—	—	—
	登用制度	—	(実現)			—	—	(実現)			—
雇用環境	私傷病休職	(実現)				—	(実現)				—
	育児時短	小学校卒業まで					小学校4年生以上の場合は申請方式により運用する				
単組独自要求		—					—				

《金庫の発言概要》

- この間の回答期限日を超えた交渉に真摯にあたっていたことに感謝する。
- 多くの大手企業から満額での賃上げ回答が示される中で、組合員から厳しい受け止め方がされていることは十分理解している。
- 価格転嫁はものづくり産業では実施できるが、金融業態も含めたサービス業では価格転嫁して賃上げを行うのは難しいことが現状である。
- これまで実施している組織風土改革については、少しずつその取り組みが見え始めているが、組織としてすべてがすぐに反映されるものではない。ここからさらに変化に向けた取り組みを進めていくためには、「個」の力を高めていくしかない。そのために労働組合役員のリーダーシップと組合員の協力は必要不可欠である。

- 本回答に対する組合員の受け止めとしては満足のいく内容ではなかったかもしれないが、これからは同じ方向を向いて進めていきたい。
- 2024年度から先に向けて厳しい環境になっていくものと考えているが、引き続き組合員のご理解とご協力をお願いしたい。

《富永闘争委員長の発言概要》

- 2月26日の要求書提出以降、回答期限日を超えて、1ヶ月間にわたって本日まで精力的な協議・交渉を重ねてきた労使交渉メンバーに感謝する。
- 金庫が置かれている経営状況については、この間の経営協議会におけるやり取りを通じて、十分に理解しているが、職員・組合員として求められる業務に対し、1年間真摯に向き合い実績に繋げてきた努力と成果に対する評価や、物価上昇に伴う実質賃金の低下、社会全体の賃上げの流れを踏まえ、基本賃金の改善については多くの組合員が満額での回答がされることを、大変期待をしていた。
- 一方で、回答期限日を超えたこの間の膝と膝を突き合わせた真摯な交渉の積み重ねにより、現時点の金庫の経営状況や、将来を見据えたシミュレーション予測等を踏まえる中では、これまでの労使の経営状況に対する認識のズレを縮めることができたことと評価したうえで、現時点における最大限の回答をしていただいたものと理解している。
- 今回の要求に対する回答は、すべてに満足できる結果ではないものの、労使の認識が一致し、今後の長野労金の発展に向け、ともに前を向いて進んでいくことができると判断したことを踏まえ、長野労金労組として基本合意を表明する。

単組は、回答期限日を越えて交渉を進めた結果、満額回答には至らなかったものの、①金庫の経営状況に対する労使間における認識のズレを解消できたこと、②金庫より、2024年度以降も職員・組合員が前を向いて事業・運動に邁進できるようなメッセージが発信されたこと、③人への投資の観点を踏まえ、追加原資を導き出したこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（14単組／3月26日12時30分現在）

沖縄、九州、九州（関連）、北海道、四国、四国（関連）、近畿、近畿（関連）
東北、東北（関連）、中央、東海、東海（関連）、新潟、北陸、セントラル
静岡、中国、中国（関連）、長野

以 上